

校友会活動ビジョン

ビジョン

未来を生みだす、立命のきずな。  
応援しよう、個のかがやきを。

行動指針

1. 未来を信じ挑戦し、自らのボーダーを超える。
2. 多様性を認め、楽しく相互に成長できるつながりをつくる。
3. 循環型支援の立命文化を創る。
4. グローバルシチズンとして、広く社会に貢献する。
5. 立命人としての誇りを持ち、大学の価値向上に寄与する。

りつめい No.282/2020年10月号

発行所/立命館大学校友会/年4回発行  
発行人/村上健治  
編集人/乾 光孝  
〒604-8520 京都市中京区西ノ京朱雀町1  
Tel.075(813)8216 Fax.075(813)8217  
URL:<https://alumni.ritsumeijp>  
E-mail:[alumni@st.ritsumeijp](mailto:alumni@st.ritsumeijp)

ご連絡先の変更はこちらから▶



# りつめい

題字・末川 博名誉総長

立命館大学校友会報

巻頭特集

## 新しい価値を 生み出す

輝くひと

ミツフジ株式会社 代表取締役社長

三寺 歩さん

(\*01経営)



# 挑戦こそ起死回生の原動力

「立命館大学で得た最大の宝物は、変わり続けるスピリット」。

独自技術で研究開発した電気を通す銀めっき繊維を編み込んだ「着られる」センシング装置（ウェアラブルデバイス）で、心拍などから得られる正確な生体データを取得し、そのデータを独自のアルゴリズムで解析・活用してさまざまなお客さまに提供することにより、社会課題の解決を目指すソリューションサービス「hamon®（ハモン）」。

この革新的なビジネスで世界から注目を集めるミツフジ株式会社は、わずか数年前まで倒産の危機に瀕していたとは想像もできない。再生を実現したのが、三寺歩さんだ。「継ぐ気はまったくなかった」と言う三寺さんが突然家業の窮状を知らされたのは、6年前のことだった。「会社の誰もが『この産業はダメだ』と諦めてしまっている。その状況を打開し、会社を、そして故郷・京都を元気にしたいと思いました」と実家に戻った理由を語る。

チャレンジ精神あふれる三寺さんの生き方の原点は、立命館大学にある。「新入生オリエンテーションで『大学は社会に出る前に与えられたリスクを取れる場所。4年間を使い切りなさい』という先生の言葉に衝撃を受けました。つまりリスクを恐れず徹底的に『挑戦しろ』と。それがすべての始まりでした」。その言葉通り、在学中は海外を回ったり、当時まだ珍しかったネット書店を起業したりと、多くのことに果敢に取り組んだ。卒業後は大手電機メーカー、IT企業などでキャリアを重ねた。

そんな三寺さんにとっても家業の再建は、人生を賭した最大の挑戦だった。「IoTを用いたウェアラブルデバイスは次の時代に『絶対に来る』と確信し、思い切って事業を集中。見事再生を果たした。2019年には新たに「医療用ウェアラブルセンサー」を発売。コロナ禍にいち早く抗菌防臭素材のマスクの提供を開始したことで話題を呼んだ。「生体データを正確に取得する技術を中核に、社会課題を解決することが当社の役割。事業領域にはとらわれません」と三寺さん。福島県川俣町、そして立命館大学とも包括連携協定を結び、川俣町で地域活性化と新産業創造を目指す取り組みもスタートさせた。「変わり続けることが会社の存続につながる。そう信じて、新しいことに挑み続けていきます」と力強く語った。

撮影：田口 葉子



ミツフジ株式会社 代表取締役社長  
三寺 歩さん（'01 経営）

輝くひと  
112

## ■ PROFILE

京都府出身。2001年に経営学部を卒業後、松下電器産業株式会社（現パナソニック株式会社）に入社。シスコシステムズ合同会社、SAPジャパン株式会社を経て2014年、家業である三ツ富士繊維工業株式会社の代表取締役社長に就任。2015年にミツフジ株式会社に社名を変更、2016年に自社初のソリューションサービス「hamon®」を発表後、さまざまなニーズに応えた新製品・サービスを続々発売する。この事業により、同社は2018年、『Forbes JAPAN』主催の「スモールジャイアント・アワード」において「大賞」および「カッティングエッジ賞」を受賞、2019年にはG20大阪サミットにてhamon®が日本の革新的技術として展示された。

立命館大学校友会報

りつめい OCTOBER 2020  
No.282

## 03 巻頭特集 新しい価値を生み出す

02 輝くひと  
ミツフジ株式会社 代表取締役社長  
三寺 歩さん

08 RITSUMEI INTERVIEW  
フェニックスリゾート株式会社  
代表取締役 社長執行役員  
片桐 孝一さん

12 立命館の研究者たち from RADIANT  
政策科学部 上原拓郎 教授  
「海洋プラスチックごみをゼロにできるか？」

14 オール立命館校友大会2020 予告

15 オンラインでつながる、ひろがる  
各校友会のオンラインでの取り組み

16 新型コロナウイルス禍における取り組み

18 立命館大学生・大学院生  
101名の挑戦を応援する、  
新たなプロジェクト「RI-sA」スタート！

20 校友会未来人財育成基金

21 3.11復興への願い/  
校友会ネットワーク

22 2020年度 校友会幹事会報告

Present

アンケートにご協力いただいた方に抽選でプレゼントをお贈りします！



24 キャンパストピックス

26 未来を拓く新入生特集

27 立命館オンラインセミナーのご案内

28 大学発オウンドメディア『shiRUto』  
「食事態は進化する with コロナの  
食業界で『共』をどう実現するか」

30 INFORMATION  
編集室から

掲載内容は全て、2020年8月時点のものです。  
デザイン・ディライツ広告事務所

# CREATE

巻頭特集

## 新しい価値を生み出す

# NEW

新型コロナウイルス感染症の拡大をきっかけに、世界や社会は大きく変わりつつあります。このような変化の中、現状から一歩踏み出し、新しい価値の創造を目指す校友2名にインタビューしました。

# VALUE

NEXT FUTURE

## CREATE NEW VALUE

新しい価値を生み出す

オーガニックの竹から作り、既存製品より約80%もプラスチックゴミの削減を可能にする。環境に配慮して作られ、品質やデザイン性にも優れている。そんな従来のホテルのアメニティとはまったく異なる、竹製歯ブラシ「MiYO-organic-」が2020年春、発売された。生みの親は、株式会社豊和の山本美代さんだ。

「竹製歯ブラシを作ったきっかけは、出張先のホテルでのこと。アメニティの歯ブラシで歯を磨いていた時、『しっかりした作りなの

## 選択肢に“サステイナブル”を 日本から世界へ発信

に、明日には捨てられてしまう。もったいないな』と思ったことでした。このホテルにとどまらず、毎日、日本中、世界中でどれほどの数のプラスチック製歯ブラシが捨てられているのだろうと考えたら、歯ブラシ1本を変えることが、地球環境に大きな影響を及ぼすのではないかと思いました」と振り返る。すぐにインターネットで「環境によい歯ブラシ」を検索した。しかしそれがないとわかった瞬間、『私が作るしかない』と心に決めました。

山本さんの母親が創業し、店舗プロデュースと什器や備品、消耗品の卸売りを手掛ける株式会社豊和に山本さんが入社したのは2017年のこと。自らスタイリング事業「DINING+ (ダイニングプラス)」を立ち上げ、インテリアや食器、備品を含め店舗の空間づくりをサポートする事業に取り組んできた。「地球環境問題に関心を持ち、かねてから当社で扱うプラスチックの備

品や消耗品をサステイナブル(持続可能)なものに変えていきたいとずっと心に思い描いていました」と明かす。

こうしたグローバルな問題に目を向けるようになったのは、大学時代。「国際関係学部で、グローバルゼー

ションのよいところばかりでなく、世界が画一化されることに対する疑問や地域性を大切に作るローカライゼーションについても学びました。何より大きかったのは、1年間、カナダのブリティッシュコロンビア大学(UBC)に留学したこと。海外に身を置いて“日本人らしさ”とは、また世界から見た日本のよさとは何だろうと考えるようになりました。そうした学びや経験を通じて培った視点や考え方が、今に結びついていると感じています」と語る。大学時代に会った国内外の友達に影響を受け、地球環境にも関心を寄せるようになった。

こうと決めたら突き進む行動力とバイタリティーが山本さんの強み。環境に優しい素材として竹に目をつけた時も、すぐさま日本中の歯ブラシ製造会社に電話をかけて竹製の歯ブラシを作ってほしいと打診した。しかし引き受けてくれる会社は一つもなかった。加えて製品に使える国産の竹を入手できないという問題も立ち上がった。考えた末に同じ竹を使う割り箸製造会社にアプローチ。ようやく事業に共感してくれる経営者と出会い、中国での製造にこぎつけたのだった。その後も試行錯誤を経て、ついに2019年、商品が完成した。

「海外ではさまざまな製品の中に環境によい製品もあって消費者が選べるのに対し、日本ではほとんど選択肢がないことを疑問に思っていました。価値観も経済力も人それぞれ。その中に『エコな選択肢』があることが重要なのだと考えています。その一つを提示できたら」と竹製歯ブラシに込めた想いを語る。「ゆくゆくは日本製の竹で商品を作りたい。日本から世界へ、このエコロジカルブランドを発信し、世界に変化を起こすのが目標です」。

「DINING+」でもサステイナブルな商品専用のオンラインショップを開設。コロナ禍で需要の高まるテイクアウト用にカップや容器などの提供を開始した。『環境によいモノが格好いい』。デザインやクリエイティブの力でそんな新しい価値観をつくっていきたくて思っています。新しい挑戦に山本さんは目を輝かせる。

やまもと みよ  
山本 美代さん  
(’06国関)

株式会社豊和 取締役  
「MiYO-organic-」  
ファウンダー



撮影：津久井珠美



DINING+



▲コンセプトに合わせたセレクトで空間を作りあげる  
(写真・ロゴ：DINING+提供)

### PROFILE

愛知県出身。スリーエムジャパン株式会社でデンタル事業に携わった後、株式会社HUGEなどでウェディングコーディネーターや食器ブランドプロデュースなどを手掛ける。東京都が主催するスタートアップコンテスト「TOKYO STARTUP GATEWAY」に応募したビジネスプランがセミファイナルに選出されたのを機に、ビジネスプランを事業化するべく2017年、株式会社豊和に入社。新たに「DINING+」を立ち上げ、インテリアからテーブルウェア、空間づくりまでサポートするスタイリング事業を展開。食器ソムリエとして自ら食空間コンサルティングなども行っている。

山本さん出演の「未来の Beyond Borders 応援サイト」の動画はこちら



▼日本人の口に合う  
サイズを追求した  
竹製の歯ブラシ



CREATE  
NEW  
VALUE

新しい価値を生み出す

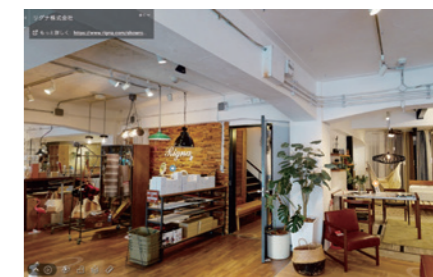
情緒的価値を生み出す」を新たな会社のミッションに掲げ、それに基づいた企業文化づくりに着手した。まずは組織づくりに取り組むとともに、経営戦略的にはインターネット販売の強化が喫緊の課題であると判断。他社に先駆けて2020年4月16日から3Dデータを活用したバーチャルショールームをウェブ上で公開した。市販のVRヘッドセットを併用することで360度の視野でショールームを見られるようになっており、より価値の高い顧客体験の機会を提供し

ライフスタイルに情緒的価値を  
—カルチャーで暮らしを豊かに

ている。バーチャルショールームは開設直後から話題を集め、4、5月のインターネット販売の売り上げは、対前年比で150%以上を記録した。

「日本の家具業界は、もっと積極的に提供価値を顧客に伝えていく必要があると思います。特に私たちリグナが扱う家具は決して安い商品ではありませんが、商品が持つ価値は、お客さまの生活に豊かさや彩りをもたらす可能性を秘めています。だからこそ、家具が生み出す“暮らしの豊かさ”をきちんと伝えていきたいのです。私が目指すのは、ものづくりの段階からお客さまに提供する情緒的価値を意識し、サイトのつくり方や販売方法までもを変えていくことです」。セレクトショップであるリグナが成長していくためには、コーディネート提案力はもちろんのこと、商品に込められたストーリーを伝えることのできるシステムが欠かせない。その構築こそが「第二創業」を任された柳父さんのミッションであり、多様なカルチャーを体験してきた柳父さんの強みを生かせるタスクでもある。

企業に新しいミッションを根付かせ、顧客に家具の新しいカルチャーを提供する——。柳父さんは、「情熱と欲望と美学」をもって、家具業界に新しい風を届けていく。



▼バーチャルショールームからも家具の購入が可能  
(画像：リグナ株式会社提供)

家具・インテリアショップの運営などを手掛けるリグナ株式会社。柳父豊さんは2020年2月に同社の取締役社長に就任した。創業社長の後を受け、現在「第二創業」に取り組んでいる。重責を担う立場に立つことになった今の柳父さんの基盤をなしているのが、大学時代の経験だ。

工学部建築都市デザイン学科に進んだ柳父さんは、平日は学業に、休日は音楽関係の仕事に時間を費やした。限られた時間で両立させるため、朝から図書館にこもり建築の勉強に励み、空いた時間は仕事に深みを持たせるため、映画、小説、クラブミュージックなど、カルチャーに触れることを重視した。「学生時代に勉強も遊びも本気でやりきったことが私の強み。それがあからこそ、『カルチャーを創り情緒的価値を生み出す』ということが私のミッションだと考えるようになりました」。

大学卒業後、大阪の大手企業に就職したのち、ファッションや音楽といった若者文化の中心に身を置きたいという強い思いから東京のベンチャー企業に転職。当時、自身も雑誌の読者モデルとして活動するなど、思い描いていたような都会での生活に「夢が叶った」と思ったこともあったという。しかし、学生時代の友人に「君はまだ何者でもなく一般人でしかない」と言われたことで目が覚め、会社員をしながらの副業で、共同代表として起業することを決意。スタートした移動式ミュージックバーの事業はメディアで注目を集める一方、経営のロジックを構築する能力が不足していることを痛感。初めての経営で挫折を味わった。もっと経営を学びたいという気持ちから、2018年に2度目の転職。社長室室長のポジションで寝る間も惜しんで働くうちに若いころから意思決定の場数を踏んでおきたいと思うように。リグナの創業社長から将来の役員として誘いを受けたのは、そんな時だった。建築を学び、さまざまなカルチャーを体験してきた柳父さんには、絶好のフィールド。それまで無縁だった家具業界へチャレンジすることを決めた。2019年8月にリグナに移って半年後、執行役員を経て社長に就任した柳父さんは、「人々のライフスタイルに



やなぶ ゆたか  
柳父 豊さん

(13 理工)

リグナ株式会社  
取締役社長

PROFILE

2013年理工学部建築都市デザイン学科卒業。照明関係の大手上場企業に入社。その後、不動産ベンチャー企業に転職。2018年から洗濯代行サービス「WASH & FOLD」を展開するベンチャー企業、株式会社アピッシュで、社長室室長として経営に携わる。2019年8月、リグナに社長室室長として入社。執行役員を経て、2020年2月、創業社長から引き継ぎ、取締役社長に就任。

# 宮崎でしか味わえない 「人生のごちそう」のような 体験を

フェニックスリゾート株式会社 代表取締役 社長執行役員

かたぎり こういち  
片桐 孝一さん（'94 経済）

2020年4月、宮崎県にあるフェニックスリゾート株式会社の代表取締役社長執行役員に就任した片桐孝一さん。  
フェニックス・シーガイア・リゾートの再建に力を注ぎ、大きく業績を回復させた。  
同リゾートと宮崎の魅力に新たな価値を見出し、貴重な観光資源として未来に残そうとする想いを聞いた。

撮影：二村 海

北海道岩見沢市で育った私が立命館大学を知ったのは、高校3年生の時です。修学旅行で京都を訪れた際、金閣寺に行こうとして衣笠キャンパスに迷い込んでしまったのが最初でした。大学受験の時にそのことを思い出し、縁を感じて志望したことが、現在にまでつながっています。

はるばる京都へ来たものの、大学時代は勉強もそこそこアルバイトに明け暮れる日々でした。熱中したのが、ツーリング。大学の近くにあるホテルで毎日のように配膳係として働き、お金が貯まるとキャンプ道具をバイクに積んで、野宿しながら日本中を旅して回るのが楽しくて、4年間で走った距離は、日本2周分にも及びました。さまざまな土地でそ

の地ならではの景色や食べ物、文化、言葉、そして人に触れるのが、旅の醍醐味。それを強く実感するのは、予想外のハブニングに遭遇した時です。助けてくれた地元の人たちの優しい笑顔は、今も忘れられません。数ある印象深い場所の中でも特に魅了されたのが、宮崎県でした。その素晴らしい景色を見たくて、3度も訪れたほどです。今その地でフェニックスリゾート株式会社の社長を務めていることに、不思議な縁を感じます。

決して真面目な学生ではありませんでしたが、3回生から所属したゼミには欠かさず出席しました。担当教員の若林洋夫教授に大変かわいがっていただき、ゼミ長を任されたことも、熱心に学んだ理由の一つです。仲間と一晩中議論したゼミ合宿は、今も心に残っています。

## 成長し続けたいとの想いで

### キャリアアップ

卒業後は建設会社に就職し、6年間、駅の改修工事などの現場や本社の経営企画部で広報を経験した後、当時福祉介護事業に乗り出したばかりのベンチャー企業に転職しました。「30歳を節目に新しいことにチャレンジしたい」とい



「旅の思い出は宝物」。学生時代はバイクで日本中を回った



う気持ちが湧いたこと、何より2000年の介護保険制度導入で大きく変わることが予想される業界で、「豊かな高齢化社会をつくる仕事にゼロから関わりたい」と思ったことが、転職を決意した理由です。新しい会社では、自ら希望して財務部門へ。資本政策を担当し、東証一部上場を目指すというそれまで経験したことのない大きなプロジェクトにも携わりました。財務の仕事は初めてで、最初はわからないことばかりでした。ベンチャー企業に入って最も驚いたのは、事業を進めるスピードです。初めての事業であっても「やる」と決まれば即座に実行に移し、あっという間に形にしていける。そのスピードに必死になって食らいついていくうちに、いつの間にか財務のスキルも鍛えられました。

就職しても一つの会社にこだわらず、常に新天地を求めてきたのは、「人として成長し続けたい」という想いがあったからです。新しい環境に飛び込めば、知識もスキルも足りず失敗したり、苦しい思いをしたりすることもたくさんあります。けれどたとえ一時的に落ち込んだとしても、そこで得た経験がいずれきっと役に立つと思えば、苦しいこともまた楽しむことができます。むしろ怖いのは、一つのところにどまって成長を止めてしまうこと。そうならないよう「もっと挑戦しよう。新しい環境に飛び込んでいこう」と常に自分に言い聞かせてきました。それがさまざまな人や会社との縁にも結び付いたと思っています。

セガサミーホールディングス株式会社で事業規模2,000億円を超えるプロジェクトが進んでいると知ったのは、ベンチャー企業に勤めて7年が過ぎた2007年のことです。願ってもないチャンスに「これはおもしろそうだ」と採用試験に応募。新しいステージに飛び出すことに迷いはありませんでした。残念ながら翌年に起こったリーマン・ショックの影響でプロジェクトは頓挫してしまいましたが、その後の2012

年、フェニックス・シーガイア・リゾートのM&Aに財務担当として参画し、当社に関わることになりました。

## 秘められた魅力が持つ 再生の可能性

正式にM&Aに名乗りを上げる前、下見のためにお忍びで宮崎県のフェニックス・シーガイア・リゾートを訪れた時のことは、今でもよく覚えています。「大きな赤字を抱え、きっと活気は失われているだろう」。そう思い込んでホテルの入口に立った私を迎えてくれたのは、スタッフの満面の笑みでした。どのスタッフも皆、イキイキと楽しそうにお客さまをもてなしています。その姿に「素敵なりゾートだな」と胸を打たれました。「確かに施設は古いし課題も多い。けれどここにはそれを上回る価値がある」と気付くのには時間がかかりませんでした。その想いを一層強くしたのが、美しい海と広大な緑に囲まれた素晴らしいロケーションを見た時です。さらには宮崎観光のフラッグシップとして、多くの人がこのリゾートに地域の発展や活性化の願いを託してきた歴史を知るにつれ、「地域のためにも残していくべきリゾートだ。私にできることがあれば、力を尽くしたい」という気持ちはますます大きくなっていきました。そこで経営陣に直談判し、社外取締役から直接経営に携わる取締役となり、この地にやって来ることになったのです。

とはいえ、それまでいくつもの企業が再建に乗り出したにもかかわらず、成果を上げられなかったリゾートを再生させることは、簡単ではありませんでした。思い切って取り組んだのが、大規模な施設のリニューアルです。実際にここに来てみて、課題であると同時に最大の可能性だと感じたのは、息をのむような絶景やスタッフの心からのおもてなし

ど、当リゾートの魅力がまだ十分知られていないこと。リニューアルは、そうしたまだ気付かれていないリゾートの魅力を多くの方に伝える絶好の機会になると考えました。

お客さまの価値観が多様化した今、かつてのように施設の目新しさではなく、ゆったり流れる時間や心を豊かにする経験に価値を感じる方が増えています。そうした方々にこそ楽しんでいただきたい。そのため「日本でいちばん“美味しい”リゾートへ」という新しいブランドスローガンを掲げ、美しい自然や美味しい食べ物、さまざまなレジャーなど、「人生のごちそう」のような「体験」を味わっていただく多種多様な「コト創り」に力を注ぎました。

2017年にリニューアルが完了してから3年、2020年3月期に初の黒字達成を目前にして、コロナ禍に見舞われてしまいました。しかし、当リゾートや宮崎の魅力が損なわれたわけではありません。この試練を乗り越えたら、近い将来必ず黒字化できると自信を持っています。

## リゾートを未来に 遺すことが使命

2020年4月、フェニックスリゾートの代表取締役社長執行役員に就任しました。引き受けたからには覚悟を持って任務を全うしようと心に決めています。最も大切にしたいことは、社内のコミュニケーションです。まず新たに「コミュニケーションデザイン部」を立ち上げ、部門や施設を超えた社員同士のコミュニケーションの活性化に取り組んでいます。実はこれには、福祉介護会社で苦労した経験が教訓になっています。当時部門の長として約40名の部下を率いていましたが、個性も考え方も異なる社員を同じ目的に向かわせることは、本当に大変でした。どれだけ理屈を説いても思うように動いてくれない社員たちを前に、人は論理ではなく感情で動くものだ痛感。一人一人の気持ちに寄り添い、心をつかんで初めてこちらの想いも通じると気付かされました。現在約750名を数える大きな組織だからこそ、社員全員が心をつなげて同じ方向に向かえば、これまで以上に大きな力を発揮できると信じています。

コロナ禍の収束が見えない今、まずは生き残ることが第一の目標です。そのために万全の衛生管理体制を整えると同時に、経営環境の厳しい今こそ、「アフターコロナ」に生



きる新規事業を生み出そうと、キッチンカーによる移動販売やテイクアウトなど新たな挑戦にも着手しています。加えて、「地域の方々に愛されるリゾート」になるための取り組みを強化。九州、そして宮崎県在住の方々に気軽にご利用いただけるプランも考案し、好評をいただいています。

宮崎の大切な観光資源であるフェニックス・シーガイア・リゾートを未来に遺していくことが、私の使命。これからも立ち止まることなく新しいことに挑戦し、会社も自分も成長させていきたい。10年後に何をしているか、自分自身の未来も楽しみです。

### PROFILE

フェニックスリゾート株式会社  
代表取締役 社長執行役員

### 片桐 孝一さん

北海道出身。1994年に経済学部を卒業。総合建設会社で勤めた後、2000年に福祉介護会社に入社。2006年、親会社に転籍して資本政策などを担当した後、2007年にセガサミーホールディングス株式会社入社。2010年に同社財務部長を経て、2012年にフェニックスリゾート株式会社の社外取締役、2013年同社取締役、2014年常務取締役CFOを経て、2020年4月1日、代表取締役 社長執行役員に就任。

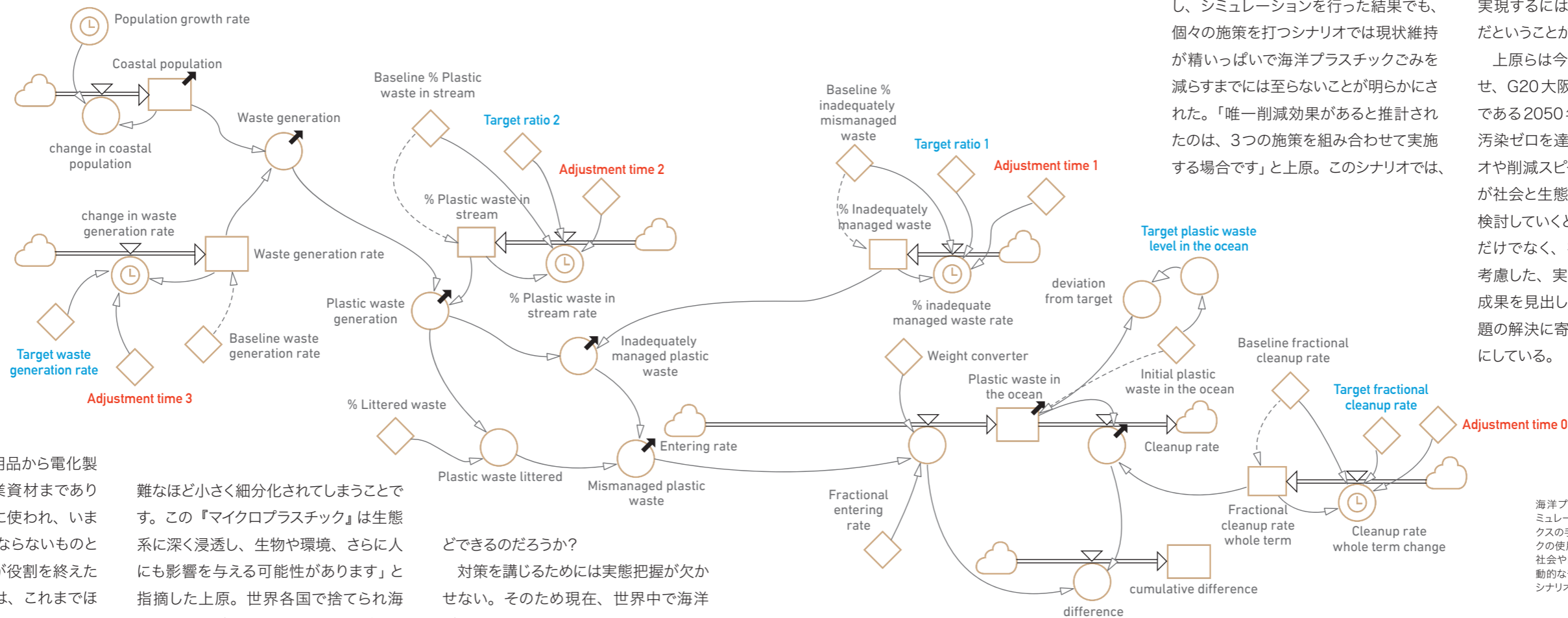


経済学部の就職活動応援企画  
「メントレ」に招かれ、後輩たちへ  
アドバイスできたことは、うれしい経験でした。  
これからは機会があれば、  
母校に恩返ししたいと思っています。



▲宮崎市の東岸に位置するフェニックス・シーガイア・リゾート。一日中、居心地のよい空間を提供（写真：フェニックスリゾート株式会社提供）

# 海洋プラスチックごみを ゼロにできるか？



プラスチックは日用品から電化製品、建材、産業資材までありとあらゆるものに使われ、いまや我々の社会になくてはならないものとなっている。だがそれらが役割を終えた後どうなるのかについては、これまでほとんどの方が無関心だった。

プラスチックは大量生産が始まった1950年頃から2015年までに全世界で累計83億トンも生産され、そのうち63億トンが廃棄されたと推計されている。それらは埋め立てや投棄によって自然界に蓄積され続け、一部は河川を経て海へと流れ込んでいる。環境資源の管理問題を研究する上原拓郎によると、それらは年間（2010年当時）で約6,200万～1億300万トンにのぼると推計されるという。

「海洋プラスチックごみのやっかいなところは半永久的に分解されないことに加え、時間が経過するにつれ、回収が困

難なほど小さく細分化されてしまうことです。この『マイクロプラスチック』は生態系に深く浸透し、生物や環境、さらに人にも影響を与える可能性があります」と指摘した上原。世界各国で捨てられ海に流入したプラスチックは潮流に乗って国境を越え、いまや人の手が入らない僻地を含む全世界に到達しているという。さらに現在も毎日プラスチックが生産され続けており、当然のことながら海への流出量を上回る量を回収しなければ今後とも累積し続けることになる。

こうした問題に対し、2019年6月に大阪で開催されたG20では、世界共通のビジョンとして2050年までに海洋プラスチックごみによる追加的な汚染をゼロにすることを目指す「大阪ブルー・オーシャン・ビジョン」が示された。だが現実にはこれほど大量に廃棄され続けている海洋プラスチックごみをゼロにすることな

どできるのだろうか？

対策を講じるためには実態把握が欠かせない。そのため現在、世界中で海洋プラスチックごみを定量的に捉えようとする研究が進められている。しかしそのほとんどが局所的、現象的な推計にとどまっていることに上原は懸念を抱く。「生態系への影響や削減効果、実現可能性が不確かなまま効果的な施策を講じることはできない」と考える上原は、生態系と社会経済システムとの関係を考慮し、社会生態系システムの文脈で海洋プラスチックごみ問題に迫ろうとしている。そこで共同研究者であるフランスのヴェルサイユ・サンカンタン・アン・イヴリーヌ大学准教授のMateo Cordierと構築したのが、システムダイナミクス的手法を取り入れ、人口動態、プラスチックの

使用量や廃棄量、海洋に流入する量など社会や自然環境の変容する要素を組み込んだ動的なモデルである。世界規模の社会生態システムという大きなシステムに位置づけ、海洋プラスチックごみを定量的に評価する世界初のシミュレーションモデルを開発。このモデルを用いて海洋プラスチックごみの削減目標や施策、費用負担などからなる削減のシナリオを分析し、より効果的な対策とそこへ至る道のりを明らかにしようとしている。

上原らはいくつかの海洋プラスチックごみ削減シナリオについて2030年までの見通しを検討している。まず、このまま何の対策も取らずに経済成長に任せた場合、2030年には2010年比でおよそ1億8,300万トンも海洋プラスチックごみが増えると推計されるという。一方、清掃によるごみの回収、不適切な廃棄の削減、代替製品の利用、それらを組み合わせた場合の4つの削減シナリオを想定し、シミュレーションを行った結果でも、個々の施策を打つシナリオでは現状維持が精いっぱい海洋プラスチックごみを減らすまでには至らないことが明らかにされた。「唯一削減効果があると推計されたのは、3つの施策を組み合わせる場合です」と上原。このシナリオでは、

2030年に世界の海洋プラスチックごみを2016～2017年比で1億1,100万トン減らすことができると推計された。

上原らのシミュレーションのもう一つの特長は、施策にかかる費用の推計を行っていることだ。それによると2030年までに2010年比で海洋プラスチックごみを25%削減するには4,920億～7,090億ユーロもの費用がかかると推計されている。これは実に2017年の世界のGDPの0.7～1%にのぼるといふ。実現するには相当革新的な施策が必要だということがわかるだろう。

上原らは今後、モデルをさらに発展させ、G20大阪サミットで掲げられた目標である2050年に海洋プラスチックごみ汚染ゼロを達成することが可能なシナリオや削減スピードや、費用負担のあり方が社会と生態系に与える影響についても検討していくという。「単に現状を捉えるだけでなく、社会、生態系への影響を考慮した、実行力のある施策につながる成果を見出し、海洋プラスチックごみ問題の解決に寄与したい」と使命感を新たにしている。

海洋プラスチックごみを定量的に評価するシミュレーションモデルを開発。システムダイナミクスの手法を取り入れ、人口動態、プラスチックの使用量や廃棄量、海洋に流入する量など社会や自然環境の変容する要素を組み込んだ動的なモデルで、海洋プラスチックごみの削減シナリオを検証、提案する。

## 社会や経済、生態系の変容を考慮した シミュレーションモデルで将来を推計する



うへはら たくろう  
上原 拓郎 教授 [写真左]

政策科学部

研究テーマ：社会と生態系のつながりに関する研究（社会生態系モデリング、サステナビリティ、レジリエンス、海洋プラスチックごみ、関係価値、里海）

専門分野：生態経済学、システム科学

写真右/共同研究者 Mateo Cordier  
ヴェルサイユ・サンカンタン・アン・イヴリーヌ大学 准教授

立命館大学研究活動報『RADIANT』(ISSUE12 環境, pp12-13, 2019.11)より一部変更し、転載  
RADIANT (ラディアント)は、立命館大学の多様な研究活動を紹介する研究活動報として2015年11月に創刊号(特集:アジア)を発行し、今年で6年目を迎えます。RADIANTは、「光を放つ、光り輝く」という意味を持つ形容詞です。今後、立命館大学の研究成果が光り輝く未来を生み出す一歩に、また、これからの世界を照らす一助になるという意味が込められています。今後一つのテーマを切り口に、立命館大学で展開されている研究を幅広く紹介していく予定です。

▶ <http://www.ritsumei.ac.jp/research/approach/ vision/activities/>

# Good Way, Good Day

どこからでも、つながる、ひろがる

## オール立命館 校友大会2020

2020.10.18 SUN

立命館大学校友会史上初 オンライン開催!!

### 開催概要

01



どこからでも!  
ライブ配信企画

02



つながる!  
ライブ交流企画

03



いつでも楽しめる!  
オンデマンド企画

参加費は  
無料です。  
(一部、有料コンテンツ有)

都道府県や国を超えて  
友人・知人との  
オンライン交流ができます。

インターネットに接続する環境があれば、  
自宅や職場、外出先など、  
どこからでもパソコンやスマートフォンで  
参加(視聴)可能です。

開催内容の詳細は校友会ホームページ・SNSに随時掲載 ※2020年度はオンラインのみの開催です。



@Ritsumei\_Alumni



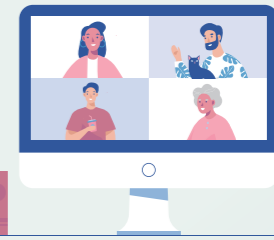
@ralumni



校友大会特設ウェブサイト ▶ <http://hajimari.info/2020allonline>



# オンラインで つながる、ひろがる 各校友会のオンラインでの取り組み



各校友会による  
オンラインイベントの  
開催案内はこちら  
ご覧のうえ、  
ぜひご参加ください!

立命館大学校友会では、新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、オンラインでの取り組みを推進し、各種会議や委員会もオンラインで開催しています。各都道府県校友会や学部・学系校友会でもオンラインでの活動が広がっていますので、その一例をご紹介します。

### 会場とオンライン同時開催 /

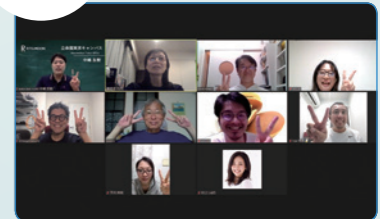
8/2  
都道府県

新潟県校友会イベント「コロナに負けるな! 史佳×小柳沙紀 de 心も体も健康に!」



5~8月  
都道府県

東京校友会幹事会



5~8月  
都道府県

大阪校友会幹事会



6/13  
地域ブロック

九州・沖縄ブロック  
意見交換会



5/3  
都道府県

神奈川県校友会  
役員Web懇親会



「日頃からLINEで気軽にコミュニケーションを取っています」

6/26  
学部・学系

産業社会学部校友会  
2020年度第1回役員会



6/13 九州・沖縄ブロック意見交換会に参加  
鹿児島県校友会  
前迫栄二郎会長 ('77 経営)



「コロナ禍でも校友会活動に取り組もう」という北九州校友会の初村雅敬事務局長の声掛けにより、ブロック単位での活動では校友会史上初のオンライン意見交換会が実現。PCの操作に不慣れな私ができるか、初めは不安でしたが、クリックするだけで簡単に参加できました。なにより、自粛していて会えなかった他県の校友の顔を見ながら話せたことで、とても元気が出ました。

8/2 新潟県校友会イベントを主催  
新潟県校友会  
小野朋子副会長・女性部長 ('92 文)



「出掛けないから運動不足」「ストレスがたまる」などの声をきっかけに、「withコロナ時代」の女性部会を発案。当日は三味線プレイヤー 史佳さんの演奏&トークで心を満たし、小柳沙紀さん振付「グレートー立命体操」で運動不足を解消!! Zoom参加者からは「本格的な演奏を自宅で聴けて感激!」との声。会場とオンラインで心の手が繋がりました。



## 新型コロナウイルス禍に伴う 学生に対する緊急支援策へのご寄付のお礼

校友の皆さまへ

新型コロナウイルス感染症の拡大が続く中、このたびの「新型コロナウイルス禍に伴う学生に対する緊急支援策」へご支援を賜り、誠にありがとうございました。

寄付募集は、いったん7月31日に締め切りを迎えました。学校法人立命館からの速報では、おかげさまで、校友の皆さまから5,000万円を超えるご寄付を頂戴しました。これも「新型コロナウイルス感染症に負けず、未来を切り拓いてほしい」という後輩の学生たちへの温かいお気持ちのおかげであると、心から感謝しています。

立命館大学では、「立命館大学 緊急学生支援金」として、新型コロナウイルス禍で、アルバイト就労ができなくなった学生、または家計急変により学生生活が困難となった学生に対して支援が行われました。支援にあたっては、校友の皆さまからのご芳志も活用させていただき、6月30日に在籍する学生・院生数の1割を超える3,796名（内訳：国内学生3,324名、留学生472名）に対して9万円（月額3万円×3カ月）、総額3億4,164万円が一括支給されました。今後の支援策についても、検討されているところです。

立命館大学校友会では、今後もさまざまな形で学生への支援や取り組みを継続してまいります。引き続き、母校の後輩たちへの温かいご支援・ご協力をお願い申し上げます。

立命館大学校友会 会長 村上健治



### 教員から未来を創造する学生へメッセージ インタビュー連載企画 「New Streams」の特別サイトを公開中!

新型コロナウイルス感染症の拡大をきっかけに、世界や社会は大きく変わりつつあります。

こうしたなか、立命館大学では、さまざまな分野で研究活動を行う教員へのインタビュー連載企画「New Streams」を立命館大学のホームページでスタートしました。

連載企画では、私たちの“いま”と“これから”を研究者視線で解説するとともに、未来を創造する学生へメッセージを送ります。



### コロナ禍でも挑戦を続ける学生を紹介 「+Rな人 with コロナ」公開中!

立命館大学のホームページで連載されている「+Rな人」では、これまで多くの“キラリと輝く学生”を紹介してきました。このたび、新型コロナウイルス禍でも挑戦を続ける学生の皆さんを紹介する特別バージョン「+Rな人 with コロナ」を公開しました。



# 未来の Beyond Borders

応援サイト

知ってほしいこと、  
考えてほしいこと

新型コロナウイルス感染症の影響に伴う学内への入構制限など、立命館大学の学生たちは、通常の学生生活を送ることが難しい状況が続いています。そのような中、学生生活のイメージを少しでも学生たちへ届けたいと「STORY Beyond Borders - 挑戦者の物語 -」を同校が企画。趣旨に賛同し、協力してくれた校友たちが、自身の大学生活での学んだことや学生に向けたメッセージを、動画を通じて贈っています。

**STORY #07**  
失敗や試行錯誤の連続  
そこから見たのは、  
成功の道筋  
松原翔吾さん  
(20院生命)

**STORY #08**  
“やるしかない”  
ただそれだけが  
自分の軸  
近藤礼さん  
(18経済)

**STORY #09**  
“奈良の町をつくる”  
それが誇りであり、  
天職  
胎中謙吾さん  
(07理工)

**STORY #10**  
2度の運命の出会いが  
人生を変えた  
現在カナダで奮闘中  
柳澤秀哉さん  
(15政策)

**STORY #11**  
2013年、24歳で起業  
大手メディアには  
できないことをする  
須澤壮太さん  
(12映像)

**STORY #12**  
出会う人々や文化、  
そして経験が  
自分をつくる  
中西梨絵さん  
(14法)

**STORY #13**  
商社に就職、  
ミャンマーへ  
27歳で出家を経験  
中村綾太さん  
(11院MOT)

**STORY #14**  
NY国連本部で  
“JAPAN”の席に  
市野紗登美さん  
(08国関)

**STORY #15**  
職業：食器ソムリエ  
山本美代さん  
(06国関)

**STORY #16**  
大喧嘩から  
生まれた強い絆  
山本郁子さん  
(16文)

**STORY #17**  
“技術で社会に  
貢献したい”  
ソニーに入社  
宮崎雅さん  
(05院理工)

**STORY #18**  
中学校の社会科教諭。  
そして、和太鼓部顧問。  
深澤光貴さん  
(10法)

**STORY #19**  
“東北楽天ゴールデン  
イーグルス 辰巳涼介”  
夢みたプロ野球選手に  
辰巳涼介さん  
(19産社)

**STORY #20**  
“一緒に日本一に  
ならないか”平井監督の  
言葉が人生の分岐点  
高田鉄男さん  
(05経営)

**STORY #21**  
NHKの記者として奮闘中  
“伝え続けること”が  
私の使命  
齋藤怜さん  
(16産社)

**STORY #22**  
絶対勝てる選手に  
なりたくて  
佐藤成葉さん  
(20経済)

**STORY #23**  
卒業から2年後、  
調剤薬局を開業  
小西礼実さん  
(16薬)

**STORY #24**  
世界中に友達ができた  
廣瀬彩那さん  
(16国関)

STORY Beyond Borders  
— 挑戦者の物語 —  
各メッセージは  
こちらから視聴できます ▶

随時更新中!

上記は、2020年5月下旬から順次公開されたものをご紹介します

立命館大学校友会 母校・後輩支援事業 RI-sA (Ritsumeikan Innovators - supported by Alumni)

# オンライン上でつながる「何か」を創りだす。 立命館大学生・大学院生101名の挑戦を応援する、 新たなプロジェクト「RI-sA」スタート!

新型コロナウイルス感染症の影響に伴うキャンパスへの入構制限などにより、春学期の間、母校・立命館大学の学生たちは通常の学生生活を送ることができませんでした。とりわけ、2020年4月に入学した新入生は、新しい友人や仲間をつくるのが困難なまま春学期を過ごしました。

新しい友人や仲間との出会い、さまざまな人との関わりの中で彩られていくキャンパスライフ。立命館大学校友会は、

コロナ禍においても学生たちの交流やつながりが新しい形で生まれ続けることを期待し、オンライン上でつながる「何か」を創りだそうとする101名の有志を、立命館大学生・大学院生の中から募集しました。

募集定員101名に対して、326名の応募がある中、学部・研究科・回生・出身地（留学生含む）などさまざまな、個性あふれる101名がRI-sAメンバーとして採用されました。



RITSUMEIKAN  
INNOVATORS  
SUPPORTED BY ALUMNI

## ■ 事業概要

### RI-sAメンバー101名の役割

- ・立命館大学生・大学院生の多種多様なニーズに応える、オンライン上のコンテンツづくり（オンライン交流企画の実施、YouTube動画配信など）
- ・オンライン上の交流の場となる、WEBサイトやアプリ等の開発・運営

### 立命館大学校友会による支援内容

- ・オンライン上の交流づくりを目的とした活動へのサポート給付金の支給（メンバー1名につき、3万円/月を支給）
- ・オンライン上の交流の場となるWEBサイトやアプリ等の開発・運営に関わる支援



つながろう、つくりだそう 僕たちの未来 **101名の挑戦**



# 「+R 校友会未来人財育成奨学金」の 2020年度受給学生が決定



## 今年度の「+R校友会未来人財育成奨学金（成長支援）」 受給学生が決定。49名の学生に奨学金が支給されました

7月27日（月）、「+R校友会未来人財育成奨学金（成長支援）」の奨学金証書授与式がWEB開催されました。新型コロナウイルス感染症の影響で思うように学生生活を送ることのできない状況下でも、社会の課題の解決にチャレンジし成長したいと、例年並みの90名の学生から応募がありました。

選考の上、49名の学生が決定。授与式当日は、校友会未来人財育成基金募集推進特別委員会委員長 林幸雄副会長が出席し、校友会の後輩支援の取り組みである「校友会未来人財育成基金」の説明と、現役学生への支援に対する先輩校友の熱い想いを伝えつつ、「この奨学金を通じた前向きなチャレンジにより学生生活を豊かなものにしてほしい」と受給学生を激励しました。今後も、彼らの成長する姿を追いかけ発信していくとともに、各校友会総会をはじめとした各種行事において、成果発表を行う予定です。



オンラインで行われた授与式



## 復興のその先へ 東日本大震災 被災地はいま。

2011年3月11日の東日本大震災から9年経ちました。立命館大学校友会の東日本大震災被災地復興支援の活動は2020年3月をもって一つの区切りを迎えましたが、震災の記憶を風化させないために、“被災地のいま”を各校友会からお届けします。

大震災から来年の春で10年になります。あの時、全国の校友から賜った温かい励ましや心遣い、本当にうれしく心より感謝しています。

おかげさまで防波堤、復興道路、災害公営住宅などハードの整備はほぼ完了しましたが、暮らしの再建、心の復興はまだ道半ばといった状況です。

岩手県校友会では、被災校友の訪問や沿岸校友会の開催、支援に来てくれる学生・校友との交流などさまざまな支援活動を行ってきました。沿岸校友会は、震災の年の11月に陸前高田市で第1回を開催して以来、沿岸の4市で合計7回開催して交流を深めてきました。

さて、震災以降も全国各地で災害が頻発し、現在は世界中がコロナ禍という厄難に脅かされています。天災は「忘れたころ」ではなく、「いつでも、どこでも、誰にでも」やって来るようなので、人事を尽くして後は安心立命ということでしょうか。



岩手県校友会 沿岸校友会総会

立命館大学岩手県校友会  
酒井博忠事務局長（75文）

### 被災された校友の 安否確認を行っています

「令和2年7月豪雨」で被災された皆さまに心からお見舞い申し上げます。

8月20日現在で、校友の人的被害に関する情報は寄せられていません。しかし、人吉市の校友が床上浸水の被害を受けられた等、各地の校友のご実家が浸水被害を受けられたというご連絡を頂戴しています。

立命館大学校友会では、天災等で被害を受けた地域の校友の皆さまの安否確認を行っています。ご自身やご家族が被害に遭われた、また校友の被害状況をご存じの方は、以下の連絡先まで情報をお寄せください。

立命館大学校友会事務局

フリーダイヤル

☎ 0120-252-094

※新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、事務局に電話がつかない場合がございます。あらかじめご了承ください。

フリー FAX

☎ 0120-252-095

E-Mail

✉ alumni@st.ritsumei.ac.jp

## 校友会ネットワーク

### 新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、以下のイベントが開催中止・延期となっています。

※校友会事務局にお寄せいただいた情報に基づき、掲載しています（8月23日時点）。

日程	校友会・グループ	日程	校友会・グループ	日程	校友会・グループ
7/25（土）	香川県校友会総会【中止】	10/3（土）	三重県校友会総会【中止】	11/14（土）	福岡県校友会総会【中止】
8月	沖縄県校友会総会【中止】	10/10（土）	宮崎県校友会総会【中止】	11/14（土）	佐賀県校友会総会【中止】
8/22（土）	憲法研究会OB会総会【延期】	10/10（土）	奈良県建設会総会【中止】	11/14（土）	大分県校友会総会【中止】
9/4（金）	全国行政書士立命会【中止】	10/16（金）	愛知県建設会総会【中止】	11/14（土）	鹿児島県校友会総会【中止】
9月中旬	栃木県校友会総会【延期】	10/23（金）	岐阜県建設会総会【中止】	11/15（日）	兵庫県校友会総会【中止】
9月中旬	奈良県校友会天理立命会総会【中止】	10/24（土）	長野県校友会総会【中止】	11/15（日）	北摂校友会総会【中止】
9/27（日）	茨城県校友会総会【中止】	10/24（土）	建設会総会【延期】	11/22（日）	広島県東部校友会総会 【総会は書面開催・懇親会は中止】
9/27（日）	大阪いばらき立命会総会【中止】	11/14（土）	愛知県校友会総会【中止】	11/28（土）	石川県校友会総会【延期】
10/3（土）	千葉県校友会総会【中止】	11/14（土）	鳥取県東部校友会総会【中止】		

### 今後の行事予定

2020年10月～11月に  
予定されている総会等です（判明分）

\*詳しくは校友会ホームページをご覧ください  
<https://alumni.ritsumei.jp>

校友会・グループ	日程	会場	問い合わせ先
埼玉県校友会総会	10/31（土）※懇親会は中止	浦和コミュニティセンター 第13集会室	榎本 哲郎 03-3552-2201
福井県校友会総会	11/7（土）※懇親会は中止	福井商工会議所ビル B1・コンベンションホール	橋 誠一 0776-23-3542
富山県校友会総会	11/14（土）	パレプラン高志会館	安部 香一 090-8090-8050
鳥取県西部校友会総会	11/21（土）	皆生温泉おーゆ・ランド	大野木 昭夫 0859-32-3308
経済学部同窓会総会	11/28（土）	オンライン開催	経済学部事務局 077-561-3940

新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、今後、中止・延期となる可能性がございます。各行事が中止・延期となる場合は、順次、校友会ホームページに掲載いたしますのでご確認ください。

### 校友会未来人財育成基金の実績

（2020年6月30日時点）

4,666の個人・団体・法人から **254,916,145円**

#### 募集要項

##### ■ 寄付の金額

(1) 個人・団体（校友会などの任意団体）の場合  
ひと口1,000円からご支援いただけます（一括寄付と継続寄付[毎月・年2回・毎年]のどちらも可能です）。

(2) 法人の場合  
ひと口の金額は特に定めておりません。

##### ■ 募集期間

期間に定めはありません。

##### ■ 活用プラン

海外留学支援、成長支援、課外活動支援、研究支援、施設整備支援。

##### ■ 税制上の優遇措置について

本寄付は立命館大学に対する寄付金であり、税制上の優遇措置を受けることができます。

#### 申込方法

##### ① WEBで申し込む

立命館大学校友会のホームページよりお申し込みください。簡単な手続きで完了いたします。クレジットカードにてご寄付いただけます。



スマートフォンからのアクセスはこちら！  
<https://alumni.ritsumei.jp/gift/>

##### ② 書面で申し込む

校友会事務局に資料をご請求ください。銀行振込・口座振替・現金にてご寄付いただけます。

お問い合わせ先（受付時間 土日祝を除く 9:30～17:00）

校友会未来人財育成基金に関しては

立命館大学校友会事務局

☎ 075-813-8216

寄付の受け入れ、税制上の優遇措置に関しては

立命館 総務部 寄付事務局

☎ 075-813-8110

※新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、事務局に電話がつかない場合がございます。あらかじめご了承ください。





## 「立命館 × READYFOR」 コロナ禍における主体的な学びを支援

学校法人立命館は、2019年12月より業務提携を行っているREADYFOR株式会社と協力し、寄付型クラウドファンディング「学生の挑戦がコロナ後の未来を切り拓く | 立命館 Beyond COVID-19」を開始しました。本クラウドファンディングを原資とした、「READYFOR Challenge助成金」は、学生・生徒・児童を対象に、新型コロナウイルス禍における社会課題に挑戦するプロジェクトにかかる費用に充てられます。7月8日に、募集・審査を経て、8つのプロジェクトが採択されました。



## 持久運動のエネルギー消費量を 水素水が有意に低減

スポーツ健康科学部の後藤一成教授と伊藤宏人さん（'19院スポ健）は、株式会社日本トリムとの共同研究において、暑熱環境下で水素を含む水（電解水素水）が持久運動のエネルギー消費量を有意に低減することを明らかにしました。本研究結果は4月17日（現地時間）、英Taylor & Francis Groupが発行する生物と熱に関する生理学専門誌「Temperature」に掲載されました。



トライアスロン選手12名を対象として最大酸素摂取量の65%相当の負荷で60分間のペダリング運動を実施

## 運動を点数や音楽表現に変換し 楽しく継続できるアプリを開発

5月20日、理工学部の岡田志麻准教授は、順天堂大学大学院スポーツ健康科学研究科の町田修一教授、東京藝術大学COI拠点の小川類特任准教授と共同開発した、運動・トレーニングを点数や音楽表現に変換するウェブアプリ「Biosignal Art（バイオシグナルアート）」を発表しました。新型コロナウイルス感染症の影響で運動不足に陥っている人々のために、研究成果で社会貢献できないかという研究者らの強い思いから、短期間で開発が進められました。



立命館大学はTechnology、順天堂大学はSports、東京藝術大学はArtで、それぞれ研究者の強みを生かしながら開発

## 立命館創始150年・学園創立120周年 記念シンポジウムをオンライン開催

5月24日、立命館創始150年・学園創立120周年を記念したシンポジウム「自由に生きるための知性とはなにか?」を開催しました。新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、オンラインで開催し、国内外から1,000名を超える方々の申込がありました。東京大学先端科学技術研究センターの熊谷晋一郎准教授による基調講演の他、東京工業大学の上田紀行教授、名古屋大学大学院の隠岐さや香教授、グローバル教養学部の下山範久教授らによるスピーチやパネルディスカッションを実施しました。当日の様子は、YouTube「Ritsumeikan Channel」で公開中です。



松原洋子副学長がモデレーターとなり、パネルディスカッションも実施

## 小川さやか教授が第8回河合雄学芸賞、 第51回大宅壮一ノンフィクション賞を受賞

先端総合学術研究科の小川さやか教授が著書『チョンキンマンションのボスは知っているーアングラ経済の人類学』（春秋社、2019年7月刊行）にて、第8回河合雄学芸賞、第51回大宅壮一ノンフィクション賞を受賞しました。本書は、香港社会に生きるタンザニア人コミュニティを考察し、香港に移住するタンザニア人たちの半生、既存の制度に期待しない人々によるセーフティネット、信用システム、シェアリング経済など、可能性に満ちた社会を描いています。第8回河合雄学芸賞の受賞理由は、「香港社会のニッチに生きるタンザニア人社会に裸一貫で潜入し、そのクールで愛に溢れたネットワークを描き出し、コロナ以後の人々の生き方に示唆を与える」という点でした。



ダブル受賞を果たした小川教授

## 情報理工学部プロジェクト団体Ri-oneが 「RoboCup」の一つで3位を受賞

6月27・28日、世界最大規模の自律移動型ロボットの競技会「RoboCup」の一つ「RoboCup@Home Education Online Challenge 2020」がオンラインで開催され、情報理工学部プロジェクト団体Ri-oneが、オープンプラットフォームのオープン部門でBronze Award（3位）を受賞しました。スマートフォンから操作し対話ができる生活支援ロボットとして、リアルタイム性の高い通信システムが評価され、2018・2019年の別部門での2連覇に続き、3年連続の入賞となりました。



ロボット製作から大会出場まで自宅で実施

## 新型コロナウイルス感染症に関連する 提案公募研究プログラムを開始

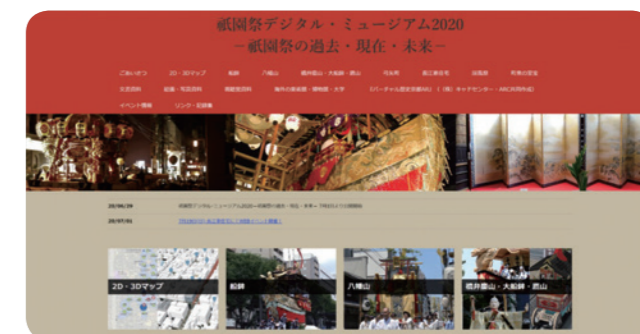
立命館大学は、総合大学の強みを生かし、新型コロナウイルス感染症に関する調査研究から、「Withコロナ社会」形成に向けた基礎から応用研究まで多様な研究を支援する「With コロナ社会提案公募研究プログラム-Visionaries for the New Normal-」を開始しました。6月29日から学内公募を行い、審査を経て9月から研究をスタート。新型コロナウイルス感染症の感染拡大後の社会（Withコロナ社会）を見据えて研究活動を推進し、人類の平和的・民主的・持続的発展に貢献することを目指します。



研究担当の松原洋子副学長が募集にあたってメッセージを発信

## アート・リサーチセンターと文学部がWEBで 「祇園祭デジタル・ミュージアム」を公開

7月1日、立命館大学アート・リサーチセンター（以下、ARC）と文学部は、WEBサイトで「祇園祭デジタル・ミュージアム2020ー祇園祭の過去・現在・未来ー」を公開しました。ARCは、2002年から祇園祭に関する古写真や映像、古文書などをデジタル化して保存する取り組みを進めてきました。今回はその中から4,000点以上の資料を公開しています。新型コロナウイルス感染症の影響により祇園祭に関わる多くの行事が中止となるなか、国内外の方々が祇園祭を体感できる機会を提供しました。



特設サイトを期間限定で公開



## 野球 × 桃谷 惟吹 選手 (産社1)

高校3年生の夏、甲子園でチームの日本一に貢献。5試合連続初回先頭打者安打の記録樹立——硬式野球部に所属する桃谷選手が野球を始めたのは、小学生のとき。おとなしい性格だったという桃谷選手。高校2年生、初出場の北大阪大会は準決勝で惜しくも敗退。悔しさをバネに、監督や先輩から、技術や考え方の助言を自ら積極的に聞きに行き、猛練習を重ねました。そして、副キャプテンを担った高校3年生、チームの日本一に貢献しました。「野球と向き合い、仲間に刺激され、自分の考えや思いを発信する力が身に付きました。また、監督の教えから、練習量の多さで技術を磨き、マナーや礼儀を身に付けるなど人として成長することも大切にしてきました」と、これまでを振り返ります。

立命館大学へ入学直後、硬式野球部は活動を自粛、6月中旬から限定的に再開しています。「自粛中は、自宅で打ち方や基礎体力のトレーニングを一から見直しました。今まで以上に、野球に対する思いが強くなりました。目標は、チームでは日本一、個人ではリーグ戦通算100安打を達成することです」と力強く話します。

試合本番は“緊張”よりも“集中力”を武器に突き進んできたという桃谷選手。産業社会学部では、オリンピック・パラリンピックについて学びたいといいます。基礎を見直し、努力を積み重ねる姿勢で、立命館大学で幅広く活躍することを期待しています。

### PROFILE

産業社会学部現代社会学科スポーツ社会専攻。履正社高等学校出身。「第101回全国高等学校野球選手権大会」優勝、5試合連続初回先頭打者安打の記録樹立。

## 未来を拓く 新入生特集

2020年4月。今年も満開の桜とともに、新入生が入学しました。新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、春学期、学生たちは“ステイホーム”な生活を送りました。本ページでは、未来を拓く2名の新入生を紹介します。

## ユーフォニアム × 北村 楓果 さん (総合心理1)

「仲間の演奏や指導方法を見るなかで、人それぞれの楽器との向き合い方や考え方に触れ、自分自身で考え行動することの大切さを学びました」——応援団吹奏楽部に所属する北村さんは、小学生のときからマーチングバンド部に所属し、さまざまな楽器に触れてきました。中学3年生から、金管楽器の一種でソロパートがある、ユーフォニアムに熱中します。高校2年生では吹奏楽部の副部長を務め、勉強と部活を両立させながら、「第23回全日本中学生・高校生管打楽器ソロコンテスト」で第3位受賞を果たしました。高校3年生では、「第47回マーチングバンド全国大会」高等学校の部で金賞を受賞しました。

立命館大学では、音楽などを通して人の「思考」や「行動」を学びたいという思いから、総合心理学部に入学。応援団吹奏楽部は、現在も活動を自粛中ですが、週に1回オンラインのミーティングで、リズム練習をしたり演奏方法を学んだりしていると話します。「今後は、ユーフォニアムにより一層励みながら、出身地や言語など、異なるバックグラウンドを持った人と交流し、異文化に触れたいです」と、学生生活の目標を話します。

常に演奏する“楽しさ”と“向上心”を胸に、ユーフォニアムと向き合ってきたという北村さん。音楽を通して得た気付きから学びを広げ、立命館大学で新たに挑戦する姿を応援しています。

### PROFILE

総合心理学部総合心理学科。高知中学高等学校出身。「第23回全日本中学生・高校生管打楽器ソロコンテスト」第3位受賞。「第47回マーチングバンド全国大会」高等学校の部 金賞受賞。

※掲載情報は2020年7月時点のものです。



# 新しくスタート/ 立命館オンラインセミナー

このたび立命館大学は、どこからでもアカデミックな講義を受講いただける「立命館オンラインセミナー」を開始しました。「未知の世界を知りたい」「専門家やプロフェッショナルの知識に触れたい」など、意欲あふれる社会人の皆さまの学びのニーズにお応えする講義を展開します。

- PC・スマホ・タブレットからカンタン受講! ※1
- 自宅からでもどこからでも受講できる! ※2
- Q&Aで講師に質問ができる!

受講料	定員
オープニング特別価格 <b>1,500円/1回</b>	各回先着 <b>800名</b>

※1 受講にはあらかじめZoom(アプリケーション)のダウンロードが必要です。  
※2 受講者は顔や名前が表示されることはありません。

### お申し込み方法と受講の流れ

- インターネットからお申し込み  
スマホ・タブレットから  
PCから 立命館アカデミックセンター 検索
- Zoom(アプリケーション)をお使いのスマホ・タブレットなどにダウンロード(無料)
- 登録メールに受講のためのURLとパスワードが届きます
- 開始20分前から受付  
指定のURLとパスワードを使ってアクセスしてください(受講にはインターネット環境が必要です)

主催 立命館大学 社会連携課  
住所: 京都府京都市中京区西ノ京朱雀町1番地

お問い合わせ 立命館アカデミックセンター事務局  
E-Mail: acr02@st.ritsumei.ac.jp

▼詳細はこちら



# 食事形態は進化する with コロナの 食業界で「共」をどう実現するか



大学発オウンドメディア『shiRUto』  
立命館大学のさまざまな「知」を通して  
社会に新しい価値を

## shiRUto

知ると、ツナガル、ウゴキダス。

<https://shiruto.jp/>



『shiRUto』は、立命館大学の教育・研究から得られる知の数々が私たちや社会とどう関わっているのかを、ビジネス、テクノロジー、グローバル、ライフ、スポーツ、カルチャーの6つの視点で取り上げる大学発オウンドメディアです。世界を、日々の生活をよりよくする、明日のビジネスを考える、新たなイノベーションを起こす、そんなきっかけを生み出すメディアを目指しています。



shiRUto 「食事形態は進化する with コロナの食業界で「共」をどう実現するか」<https://shiruto.jp/life/2194/> (公開日:2020年6月9日)を一部改訂し、掲載



### 外

食産業が大きく変わろうとしている。新型コロナウイルス感染症に係る緊急事態宣言は解除になったものの、今後も“3つの密”を避けた営業が長期化することが予想される。

変わろうとする、私たちの食のスタイル。そのような中、食事によって人と人との間で共有されていた時間や空間は、どのように変化していくのか。管理栄養士でもあり食品流通、マーケティングにも詳しい、立命館大学 食マネジメント学部の田中浩子教授に聞いた。

### 中食で過熱するデリバリー 今後の店内飲食をどう考えるか

現代の食事形態は、レストランや居酒屋など家庭“外”で食事をする外食、スーパーマーケットなどで食材を買って家庭“内”で調理して食べる内食、家庭“外”で調理された食品を家庭“内”に持ち込んで食べる中食の3つに分けられる。コンビニのお弁当をはじめ、新型コロナウイルス感染症対策のために外食産業が行っているテイクアウトやデリバリーなどもこの中食に含まれる。

外食の代替手段として、中食のテイクアウトやデリバリーが一時的に機能している状態であることは間違いないだろう。では長い目で見ると、外食産業にとっての課題は何なのか。

「まず『店内飲食をどう変えていくか』が最大の課題だと思います。デリバリーは人口密度が高くないと成り立ちづらいビジネスモデルです。都市圏のように住民の密度が高ければいいですが、地方では難しい。テイクアウトを始めたことにより、今までとは異なる



顧客を獲得できたという良い面もありますが、『外で食事をしたい』という欲求には対応できていないので改善が望まれます。外食産業全体で知恵を絞り、イノベーショ

ンを起こしていく必要があると思います」(田中教授。以下同じ)

新型コロナウイルスの影響で、店舗縮小を決めた外食チェーンも出てきた。これまでと同じ店内飲食の形態では、長期的な新型コロナウイルスの影響下で収益を確保していくことは難しくなっている。では、どのような視点でイノベーションを起こしていけばよいのだろうか。

田中教授は、新型コロナウイルス禍で市民権を得たITコミュニケーションに加え、食事が担ってきた「共」というキーワードに注目する。

### 店内飲食のイノベーションを促す 「食=共」という視点

食事は、家族や友人、職場の同僚と会話が生まれる場であり、新たな人間関係が生まれる場である。人々はプライベートでも仕事でも食を媒介にしてコミュニケーションをとり、食は人と人をつなぐ重要な役割を担っている。

新型コロナウイルス禍で人と食事を共にすることが難しくなっている今でも、人が食に求めることは変わらない。Zoomに代表されるオンライン会議ツールを使用したオンライン飲み会の流行がそのいい例だ。

「オンラインでの飲み会も、最初はそれぞれがバラバラのものを買ってきて食べていたのが、今ではコンビニなどで同じものを買って同じものを食べるような試みも行われています。オンラインという新しい形の飲み会ではありますが、『食事を共にする』という根源的なニーズは変わることはありません」

従来、食事時間帯に電話をかけたり、食べながら電話をかけることはマナーとして避けられていた。しかし、新型コロナウイルスの影響で、食事中でもオンラインでつながることが増え、離れたところに住む友人や家族とZoomやLINEで顔を見ながら食事することも珍しくなくなった。人々の「食事を共にしたい」という欲求が、新たなツールの活用を促している事例といえるだろう。

「食を通して実現したかった世界やコトには、『共』というキーワードが含まれています。長期戦となった新型コロナウイルス対策の中で、どのように『共』を実現していくかというのが重要な視点となるでしょう。フェイスシールドや仕切りのようなハード面も、より圧迫感のないものになっていく可能性があります。また、ITを活用して、遠隔でもより自然なコミュニ



立命館大学 食マネジメント学部  
田中浩子教授

ケーションができる

ようになるかもしれません。技術の革新に合わせて、外食産業を含め、さまざまな業態にイノベーションが起こることが予想されます」

### 「テクノロジー×共」が ポストコロナの食卓を豊かにする

今から30年後の2050年代には、世界人口は100億人を突破する。食料不足が問題視される一方で、日本の人口は1億人を切るという。過疎化が進行した地域では高齢者の食料アクセス問題なども懸念される。ポストコロナの近未来、私たちの“食”はどのような課題を抱えているのだろうか。田中教授は、「人々が食の周辺に何を求めているかが重要。その欲求を捉えた業態や社会づくりが求められる」と指摘する。

「例えば食料品アクセス問題に関して言うと、ネットスーパーや配送のインフラを整備し、宅配ボックスを設置するなどの受け取るしきみを整えれば、単純に食品を手に入れるという課題は解決できると思います。しかし、人が求めているのはそれだけではありません。

朝市に行けば、新鮮な食材を自分で見つけることができる。生産者と直接話をしながら、食材を自分で選べるマルシェもあるでしょう。スーパーに行けば近所の誰かと会って立ち話ができる。このように食を核として人と人がつながり、そこに楽しさや豊かさを見出してきたのです」

技術の進歩は人々の欲求を超えて、新しい世界を提供してくれる。しかしその新しい世界が人間の自然な欲求と乖離しては意味がないと田中教授は話す。一方で、この新型コロナウイルスの影響により、今まで活用されてこなかったツールに焦点が当てられ、活用されるようになったことは、今後の食にまつわる問題を解決するためのポジティブな変化であるとも言える。

「例えば、まちづくりについて考えるワークショップを行う時に、今まではその地域に住む人しか参加できませんでした。しかし、Zoomのようなツールが活用されることで、今まで関われなかった人が参画できるようになってきています。食に関する情報の1つとして、スーパーの売場に生産者の顔写真を飾っているところもありますが、今後は新しいツールを使って、より深いコミュニケーションが実現していくかもしれません」

食は人々の生活の中核を成し、生活の質を決める要素でもあるがゆえに、新型コロナウイルス禍によって多くの問題が浮き彫りになった。しかし今回の急速なライフスタイルの変化により「人々が食に求めているものや情報が得やすくなり、さまざまな課題に対する解決策のフェーズが変わるきっかけになるのではないかと田中教授は展望する。この変化は、食の周辺にある人々の欲求を再構成し、社会課題にイノベーションをもたらす契機となる可能性もあるのだ。

### 叙勲

■旭日中綬章  
高崎秀夫氏 (67法)  
元株式会社京都銀行頭取

■旭日双光章  
橋博氏 (63法)  
元近江八幡市議会議員

川上八郎氏 (73法)  
元伊丹市議会議員

■旭日単光章  
八木良樹氏 (70理工)  
マイクロニクス株式会社社長

■瑞宝中綬章  
福山豊氏 (62理工)  
長崎大学名誉教授

鶴崎功氏 (69経済)  
元神戸市副市長

安田喜憲氏 (70文)  
国際日本文化研究センター名誉教授

■瑞宝小綬章  
瀧紘一氏 (69経済)  
元京都府亀岡地方振興局長

中田恒治氏 (71法)  
元大阪簡易裁判所判事

高木繁氏 (72法)  
元大阪地方裁判所民事首席書記官

川瀬健三氏 (73産社)  
元公立高等学校長

畑宗男氏 (78経済)  
元高槻市消防監

■瑞宝双光章  
福田曉三氏 (60法)  
明德保育園施設長

寺本信子氏 (67文)  
元公立小学校長

■瑞宝単光章  
長谷川剛士氏 (68理工)  
諸工芸 (京表具) 製造業従事者

### 褒章

■黄綬褒章  
新邦夫氏 (77法)  
土地家屋調査士

福原敏見氏 (79経営)  
有限会社ボック社長

### 就任(内定含む)

平能正三氏 (82理工)  
三協立山株式会社  
代表取締役社長 社長執行役員

古川博規氏 (87法)  
京都府副知事

見村尚師氏 (85経営)  
阿波銀コンサルティング株式会社  
代表取締役社長

吉留昌彦氏 (88経済)  
株式会社南日本銀行取締役

春名貴之氏 (91経済)  
株式会社かんぼ生命保険執行役

### 当選

大橋一夫氏 (76法)  
京都府福知山市長選挙

堀江和博氏 (06政策)  
滋賀県日野町長選挙

### 訃報

清家邦敏氏 (61経済)  
元学校法人立命館理事、  
立命館大学校友会顧問、  
福岡県校友会名誉会長

上野明氏 (83院理工)  
立命館大学工学部教授

高内俊一氏  
立命館大学名誉教授 (経済学部)

校友会へご寄贈いただきましたご著書の中から  
一部をご紹介します。

◆川村匡由氏 (69文) 著  
『防災福祉先進国・スイスー災害列島・日本の歩むべき道』  
旬報社 1,600円+税

◆小林翠径 (本名:小林忠) 氏 (76文) 編  
『シリーズ書の古典 6 魏晋唐楷書小品』  
天来書院 1,500円+税

◆手島仁氏 (83文) 著  
『群馬地域学研究所叢書① 石坂荘作と顔欽賢  
ー台湾人も日本人も平等にー』  
上毛新聞社事業局出版部 1,500円+税

◆神田剛氏 (94法) 著  
『お邪魔しMAXデラックス  
底抜けオオサカ観光局』  
朝日新聞出版 1,300円+税

◆荻窪輝明氏 (01法) 著  
『youのたっくす、meになるカイケイ?』  
～あなたの税金、身になる会計!～』  
税務研究会出版局 1,500円+税

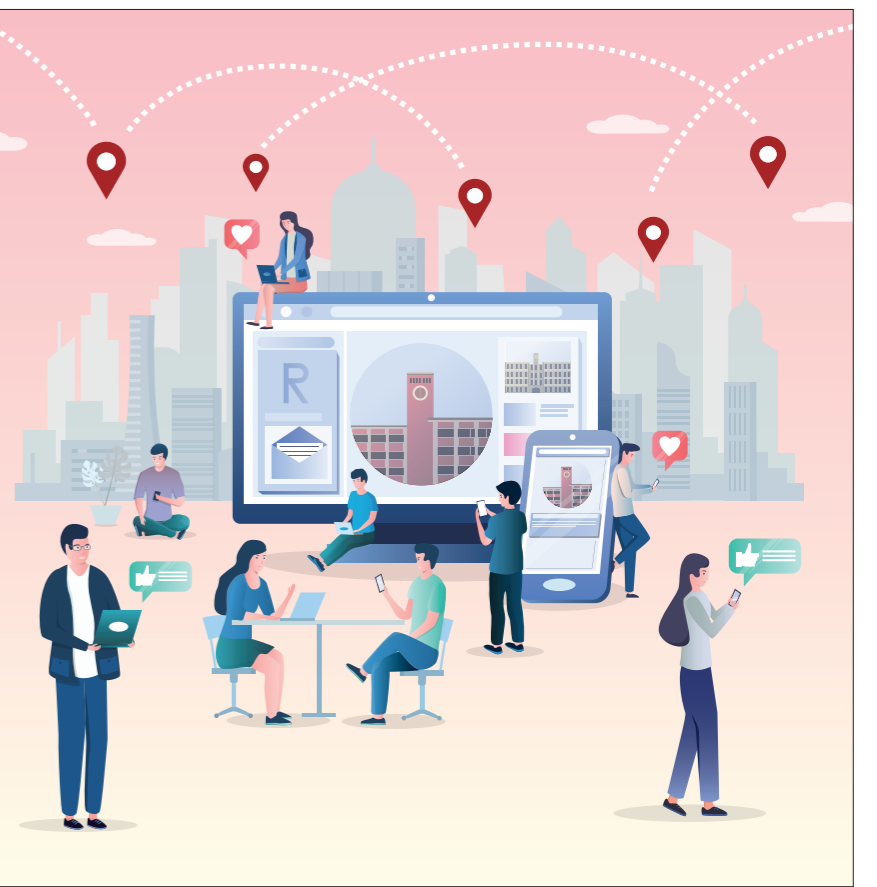
# 離れていても、 つながろう。

## 立命館大学校友会

公式ウェブサイト  
<https://alumni.ritsumeiji.jp/>

公式Facebook  
@ralumni

公式Twitter  
@Ritsumei\_Alumni



2020年早々、あのダイヤモンドプリンセスクルーズ船に乗り合わせていた友からのメールの一報。「いま横浜港に着いたんだけど、棧橋はテレビクルーのカメララッシュよ」。あれから、春、夏、秋……。季節をじつくり愛でる機会も余裕もなく、新型コロナウイルスと人智の共存の時代となった。コロナ禍から“withコロナ”へ。自粛期間は個人のヘルスリテラシー、危機管理能力が問われ、マインドマネジメントの必要性を強く感じた時期でもあった。特に地方出身の現役学生にとっては、大学側からいち早く支援を受けられたことは心強かったに違いない。改めて校友会の意義、つなぐ意味を考えました。

(高橋英子)

## 編集室から

校友会のさまざまな会合が書面決議やオンラインになっている。当然、これは感染症拡大を防止する弛みない努力といえるのだが、多くの方が言われるのは、つながることへの切望である。つまり、自宅にいてもつながりたいということであるが、これこそ校友会がその力を発揮する部分ではなからうか? 自宅にいても、またオンラインができる環境であろうとなからうと、例えばこの校友会報誌の誌面は、その役割を十分に果たすのではと思っている。そう考えれば、校友会第二世紀といわれる今まさにこのタイミングに誌面、そして、ウェブ上での会報誌の発行など、さまざまな形での「つながる」媒体としての『つづめい』にますます真摯に向かい合い、「今号良かったよ」とのお声をいただける形にして参りたい。

(乾)

現在、立命館学園では「建学の精神」、「教学理念」、「立命館憲章」に則り、2030年代の立命館の姿「学園ビジョンR2030」の策定に全学を挙げて取り組んでいる。その柱の一つとして「次世代研究大学」を目指すという検討がなされている。研究の高度化のみならず、世界中の大学や研究機関との連携研究やオープンイノベーションを通じた新たな社会共生価値の創出など、世界を牽引できるような研究大学である。現在、学内には教育組織の学部・研究科以外に、研究活動を支える研究機構・研究所・研究センターから構成される研究組織がある。このように着実に実績を積んできた教育と研究組織間のシナジー効果をより一層発揮することにより、「次世代研究大学」の実現は確実に達成できると考えている。

(N)

「そろそろ31cmか……」自粛生活の中で知らないうちに髪が伸びてきました。私はカットの長さが31cm以上になるまで髪を切りません。というのも、ヘッドネーションがしたいからです。「つな髪」という髪の寄付の活動で、15cm以上でキャップ式のウィッグのための寄付ができ、31cm以上でフルウィッグを作るための寄付ができます。完成したウィッグは、ウィッグが必要な子どもたちにプレゼントされています。ただ髪を切るという生活行動の一部が寄付につながるということに感銘を受け、2回ほど参加させていただきました。がさつな性格なのですが、髪をきれいに保ちたいという気持ちも出てきて、自分のためにもなっている気がします。この活動がもっと広まればいいなと思い執筆させていただきます。

(榎本暁子)

# 立命館大学国際平和ミュージアムのご案内

立命館大学国際平和ミュージアムは、平和創造の面において大学が果たすべき社会的責任を自覚し、平和創造の主体者を育むために設立されました。

常設展示は、テーマ1:一五年戦争、テーマ2:現代の戦争、テーマ3:平和をもとめて、の3つのテーマで構成されています。

国際平和メディア資料室には、平和関連の図書・雑誌資料・AV資料約49000点を所蔵しています。

ご来館時のお願い

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、ご来館の皆さまにご協力をお願いいたします。

- 発熱や風邪の症状がある方、体調が優れない方は、ご来館をお控えください。
- マスクをご持参ください。

※ホームページにおいて、その他新型コロナウイルス感染症拡大防止対策について記載していますので、ご来館の際は、必ずご確認ください。(入館をお断りする場合があります)

開館時間 午前9時30分～午後4時30分 (入館は午後4時まで)  
開館時間は変更することがあります。

休館日 日曜日及び祝日の翌日

観覧料 一般400円/中・高生300円/小学生200円  
障害者手帳等をお持ちの方(介助者1名を含む)は無料  
※団体見学は2021年3月末日まで中止いたします。

※校友の皆さまは右下の三角券を受付に提示、または校友申請手続きで無料となります。

立命館大学 国際平和ミュージアム  
〒603-8577 京都市北区等持院北町56-1 TEL.075-465-8151 FAX.075-465-7899  
URL <https://www.ritsumeikan-wp-museum.jp/>



新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、休館および今後の展示・イベント企画を急ぎよ延期もしくは中止させていただきます。可能性がございます。詳細は随時ホームページやTwitterにてご確認ください。



交通ルート  
● JR・近鉄 京都駅より市バス50・快速立命館にて「立命館大学前」下車、徒歩5分  
● 阪急電車 西院駅より(急行停車)市バス205にて「わら天神前」下車、徒歩10分  
● 京阪電車 三条駅より市バス15・51・59にて「立命館大学前」下車、徒歩5分  
※お車でのご来館はご遠慮ください。

立命館大学国際平和ミュージアム  
常設展 特別展  
校友招待券  
(校友)会費入館無料  
校友会「つづめい」  
No.222